

第五條 船長ハ船積免狀ニ照シ酒類ヲ船積シ出港前其ノ積取石數ヲ收稅官吏ニ届出ツヘシ

第六條 收稅官吏又ハ警察官吏ハ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ出港船舶ニ臨檢スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ收稅官吏ハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帶スヘシ

第七條 出港稅ヲ納付セスシテ酒類ヲ船積シ又ハ移出シタル者ハ其ノ出港稅ノ五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ酒類及其ノ容器ハ之ヲ沒收ス既ニ處分シタルトキハ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第八條 第五條ノ届出ヲ爲サス又ハ虛偽ノ届出ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九條 收稅官吏又ハ警察官吏ノ職務ノ執行ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シ又ハ當該官吏ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十條 酒類ノ製造販賣又ハ移出ヲ業トスル者ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ第七條又ハ第九條ノ規定ニ違反シタルトキハ酒類ノ製造販賣又ハ移出ヲ業トスル者ヲ處罰ス

第十一條 前條ノ場合ニ於テ酒類ノ製造、販賣又ハ移出ヲ業トスル者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ヲ處罰ス但シ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書、第二十九條第二項、第四十條第四十條第四十八條第二項、第六十三條及第六十六條ノ例ヲ用井ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

朕帝國議會ハ協贊ヲ經タル工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

大正元年八月十日

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望
大藏大臣 山本達雄

法律第二號(官報八月十二日)

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法中左ノ通改正ス

第一條中造石稅ノ下ニ又ハ出港稅ヲ加フ

第二條中沖繩縣酒類出港稅ヲ出港稅ニ改ム

第五條第一項中造石稅ノ下ニ又ハ出港稅ヲ加フ

(參照)

法律第四十六號工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法(明治三十九年四月二十四日官報)抄錄

第一條 造石稅納付濟ノ酒精ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ヲ以テ定メタル工業ノ用ニ供スル者ハ政府ノ承認ヲ得テ毎同一石以上ノ酒精ヲ使用スルトキニ限リ其ノ造石稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第二條 造石稅又ハ沖繩縣酒類出港稅納付濟ノ酒精酒類其ノ他酒精含有飲料ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ヲ以テ定メタル政府ノ工業用ニ供給スル者ハ毎同一石以上ノ供給ヲ爲ストキニ限リ其ノ造石稅又ハ出港稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第五條第一項

第一條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ申請書ニ造石稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添附スルコトヲ要ス